

地域活動報告



横浜

バルーンアート研修会開催

横浜市金沢区青少年指導員協議会 育成部部长 深本 彰

金沢区青少年指導員協議会では、地域活性化と青少年育成のため、さまざまな活動を行っています。その一環として、毎年恒例の区民まつり「いきいきフェスタ」では、青少年指導員の活動をPRするブースを出展し、子どもたちと一緒に楽しめる「かんたん工作」の機会を提供しています。中でも特に人気を集めているのが、バルーンアートの配布です。カラフルな風船で作られた動物やキャラクターは、毎年多くの子どもたちに喜ばれています。今年度は新たに委嘱された指導員も多いため、外部講師を招いた研修会を令和8年7月4日(土)に開催しました。最新の知見や技術を学び、支援活動をさらに充実させることが狙いです。

50人以上が参加した約1時間30分の研修では、犬や剣のほか、応用編としてウサギなどの制作に挑戦し、バルーンアートの基礎技術や安全な作成方法を学びました。研修後のアンケートでは、参加者全員がよかったと回答しており、活動への意欲向上にもつながる有意義な時間となりました。

今後も研修を通じて身に着けた知識や技術を生かし、地域の子どものために様々な活動に取り組んでいきます。



県央

親子手づくりDIYキッズ教室

綾瀬市青少年育成員協議会 副会长 川居 静子

令和8年8月2日(日)に、綾瀬市役所会議室にて「親子手づくりDIYキッズ教室」を開催しました。小学生と保護者36組72名が参加しました。

子どもたちは、設計図を見ながら、集中して釘を一本一本打って、ミラクルボックスを作りました。子どもたちからは、「難しかったけど楽しかった」などの感想があり、保護者からも「子どもと一緒にいい体験ができてよかった」と好評でした。出来上がった作品は、自宅でペイントなどの装飾をして世界に一つだけのボックスになります。

親子で協力して行うことで、絆を深めることを目的とする本事業は、これからも夏休みの思い出づくりのために続けていきます。





たのしいわんぱくフェスティバル

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会 広報研究部会 小川 輝夫

毎年11月に県立保健福祉大学でわんぱくフェスティバル実行委員会（8団体）主催の『わんぱくフェスティバル』と市主催の『すかりぶおやこまつり』が同時開催され、多くの来場者で賑わいます。

交流広場での多数の出店や、パフォーマンススペースで音楽や遊戯、ステージでは音楽、ダンスなど楽しいイベントが行われます。

青少年育成推進員が担当する出し物は、長蛇の列ができる甘いチョココレートの香りが漂うチョコバナナ販売、飛ぶかな～紙飛行機づくり、「どんな飛行機がいいですか」と子どもに聞くと「簡単でよく飛ぶ飛行機がいい」。

百発百中の射的ではスタッフも銃の構え方の指導でてんてこ舞い、汗だくで休憩時間も取らずに子どもたちと一体となって楽しみ、心が通えた一日になります。



新人を交えた親睦交流会

相模原市青少年指導委員連絡協議会 会長 齊藤 一城

今期の相模原地域の活動方針は「協調と協働：仲間とのコミュニケーションを心がけ協力してチームを盛り上げよう」を掲げています。

今期の始まりにあたって、新たに青少年指導員になられた方々と交流を深めようということで、5月23日(土)に、相模原市の上大島キャンプ場にて、親睦交流会を開催しました。当日は新旧のメンバー含めて約50人が参加し、バーベキュー、ミニ研修、ミニゲームを行い、親睦交流を図るとともに、日頃の活動への理解を深めてもらいました。

バーベキューでは新任・再任の垣根なく交流を深めることができ、楽しい時間を過ごしました。ミニ研修ではバンブーダンスとさかな釣りゲームを体験し、運営方法や盛り上げ方、参加してくれる子どもたちへの接し方などを学びました。午後からはミニゲームとして「フルーツバスケット」「震源地ゲーム」「木こりとリス」等のレクリエーションを実際に体験しながら学びました。

新人を交えてのこのような企画は初めての取り組みでしたが、参加者には大いに楽しみ、学んでもらい、とても有意義な時間となりました。

